

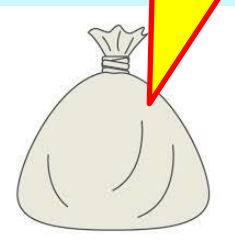
京大病院医療安全情報76

【名無し検体の提出禁止】 (第2報)

2013年に京大病院医療安全情報41で情報提供しましたが、類似事例が頻発していますので、再度お知らせします。

事例1

名前記載のないビニール袋に入った検体が依頼書とともに病理部に搬送された。

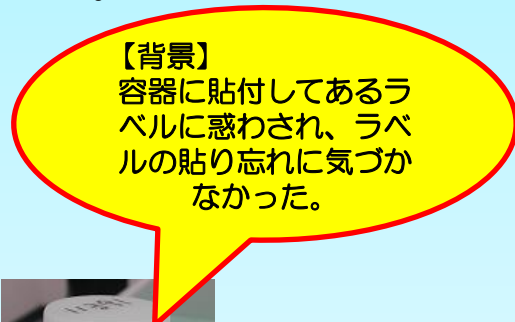


(手術室では必ずラベルを貼っています)

【背景】
検体を手術室から持ち帰り作業した後に、
記名を忘れた。

事例2

医師が処置室で組織採取し、看護師が検体容器に受け取った。ラベルを貼り忘れたまま提出した。



【背景】
容器に貼付してあるラベルに惑わされ、ラベルの貼り忘れに気づかなかった。

他院事例より学ぶ

乳がんの女性患者2人から採取した病理検査の検体を取り違え、誤って経過観察でよい早期乳がん患者の右乳房を全摘した。

検体の取り扱い不備は重大な結果を招く恐れがあります。
必ず次ページの【検体採取時の原則】を遵守してください。

インシデント報告に基づいた「お知らせ」です。

京大病院医療安全情報76

【検体採取時の原則】

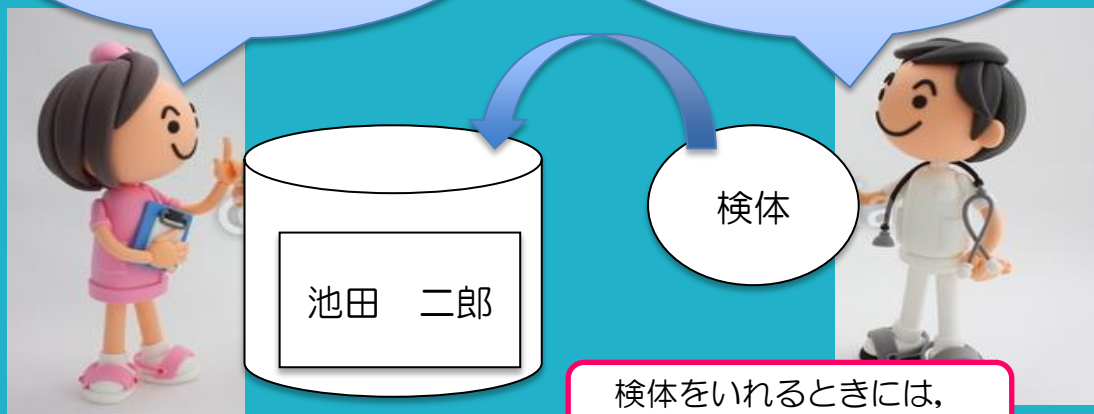
ラベルを貼った容器に検体を入れる。

無理な時は、採取後すぐに容器にマジックで患者氏名を記入する。

Step 1： 検体を容器に入れるときに患者氏名確認

池田二郎さんの
検体ですね。

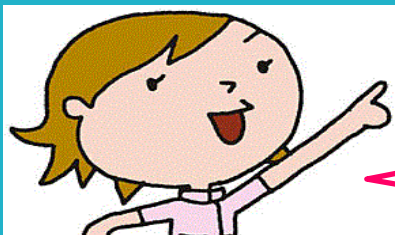
池田二郎さんの
検体入れます。



検体をいれるときには、
さあ、

いっしょにこえを出してカクニン（い・こ・か）

Step 2： 検体と病理検査用紙を提出する際に患者氏名が一致していることを指差呼称



「検査用紙」
「検体ラベル」
患者氏名，一致，ヨシ！

医療安全管理室作成